

講義ユニット名	系統解剖学		所属科目名	人体構造学
講義ユニット 責任者	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学 (内線 5115 )	
		メール	haizawa@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学 (内線 5115 )	
		メール	haizawa@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義中心, 講義資料配付, スライド投影, 板書			
概要	<p>「医学一般」のうち, 「個体の構成と機能」  「人体各器官の正常構造と機能, 病態, 診断, 治療」のうち, 「人体各器官の正常構造と機能」  「全身に及ぶ生理的変化, 病態, 診断, 治療」のうち, 「成長と発達」「加齢と老化」に関連する項目を扱う.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生物のひとつの種であるヒトの体について, 形態学の面から理解する.</li> <li>・人体の構造を分子レベルから肉眼レベルまで関連づけて把握する.</li> <li>・人体の構造によりになわれている機能を理解する.</li> <li>・各器官の構造を知ると共に, その機能的意味を, 諸分野の成果も取り入れながら追求する.</li> </ul>			
講義ユニットの 到達目標	<p>位置関係を方向用語(上下, 前後, 内・外側, 浅深, 頭・尾側, 背・腹側)で説明できる。  骨髄の構造を説明できる。  脾臓, 胸腺, リンパ節, 扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。  骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。  頭頸部の構成を説明できる。  脊柱の構成と機能を説明できる。  骨盤の構成と性差を説明できる。  心臓の構造と分布する血管・神経, 冠動脈の特長とその分布域を説明できる。  心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。  大動脈と主な分枝(頭頸部, 上肢, 胸部, 腹部, 下肢)を図示し, 分布域を概説できる。  主な静脈を図示し, 門脈系と上・下大静脈系を説明できる。  胸管を経由するリンパの流れを概説できる。  気道の構造, 肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。  肺循環と体循環の違いを説明できる。  縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。  各消化器の位置, 形態と関係する血管を図示できる。  腹膜と臓器の関係を説明できる。  食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。  肝の構造と機能を説明できる。  歯, 舌, 唾液腺の構造と機能を説明できる。  腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。  腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。  男性生殖器の形態と機能を説明できる。  女性生殖器の形態と機能を説明できる。  各内分泌器の位置を図示し, そこから分泌されるホルモンを列挙できる。  副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。  眼球と付属器の構造と機能を説明できる。  眼球運動のしくみを説明できる。  外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。  聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。  口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。</p>			
講義日程	<p>「人間理解のための人体解剖学」で人体の構造について基本的なことを学んだ。系統解剖学では, 「人間理解のための人体解剖学」の発展的内容, および「人体解剖学実習」に関連する内容を扱う。詳細はユニット開始の際に配布する日程表を参照のこと</p>			
出席の取り扱い	<p>講義については3分の2以上の出席を試験の受験要件とする。  実習は出席が原則である。</p>			
評価項目	<p>試験の成績, 授業への取り組み方(講義の際の質疑応答など)</p>			

評価法	試験は、「人体解剖学実習」の試験に含める。
履修上の注意 アドバイス	同時期に人体解剖学実習、組織学が進行中である。 相互に関連させて学ぶこと。
推奨参考書	<p>1. Gray's Anatomy: The Anatomical Basis of Clinical Practice, 41e, Susan Standring 編 Churchill Livingstone ¥22,777 (amazon.co.jpで2017/3/20現在)。内容は、細胞学、組織学、肉眼解剖学、発生学と、この「人体構造学」のすべてをカバーしていると言ってもよい。本文だけで1500ページ以上ある。本を買えばオンラインでも全文が読める。kindle版もあり ¥26,465</p> <p>2. 「カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版」 坂井建雄, 河原克雅 (2017) ¥19,440 1冊だけ, という場合にはこれを指定します。電子書籍付き。</p> <p>組織学の分野では ;</p> <p>3. 「標準組織学 総論 第5版」藤田尚男・藤田恒夫著, 岩永敏彦改訂 (2015) 医学書院。 ¥8,856</p> <p>4. 「標準組織学 各論 第5版」藤田尚男・藤田恒夫著, 岩永敏彦・石村和敬改訂 (2017) 医学書院。 ¥11,880</p> <p>5. 「組織細胞生物学(原書第3版)」A. I. Kierszenbaum, L. L. Tres著, 内山安男 (監訳) (2010) 南江堂, ¥9180</p> <p>6. 「Ross組織学」M. H. Ross, W. Pawlina著, 内山安男 (監訳) (2010) 南江堂, ¥9720</p> <p>肉眼解剖学の分野では :</p> <p>5. 「グレイ解剖学 原著第3版 電子書籍(日本語版・英語版)付」R. Drake, A. W. Vogl, A. W. M. Mitchell著, 塩田浩平, 秋田恵一 (監訳) (2016) エルゼビア・ジャパン, ¥12,960</p>